

令和8年度 職場体験・就労体験（土） 年間カリキュラム

【ねらい】

- ① “働く”ということが、どういうことなのかを体感し理解する。
- ② 社会性の向上をはかる。
- ③ 自分の得意不得意を知り、将来に繋げる。

【支援方針】

- ① 子どもたちが将来に繋がられるような活動内容を模索し、様々な職業体験を提供する。
- ② 取り組んだことに対する対価を提供し、働くことへのモチベーションを維持する。

月	活動内容	目的とねらい	身につけて欲しい力 (5領域)	予想される事・注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)	
4月	第1週目 職場体験 第3週目 就労体験	●身だしなみへの意識や挨拶など、社会人としての基本的なマナーを知る。	【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。 【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。	●初めて“働く”を経験し、自分の苦手なことを認識したり、“働く”ことへのマイナスなイメージを持ったりする。 ⇒活動意欲が下がらないように、できたこと、得意なことに焦点を当てた声掛けを行う。 ●恥ずかしさや緊張から挨拶する声小さい、言えないなど躊躇行動がでる。 ⇒まずは職員に対してできるようにしていく→次は相手に声は届かなくても声をだす→音量を少しずつ上げていく（音量の目安を数値化するなど）…などスモールステップでサポートする。	
5月					
6月					
7月		●“働く”ことを実際に体験し、理解を深める。 ●働くことの大切さや喜びを知り、達成感を味わう。	【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成（数、大小、色など）。 ・場に適した行動ができるようになる。 【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓（指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等）。 ・読み書き能力の向上。	●人前に立つことの苦手さから活動への意欲が低下する ⇒スモールステップで課題に取り組んでいき、成功体験を積めるようサポートする。	
8月					
9月					
10月		●自分の得意なこと、苦手なこと、など自己理解を深め、将来について考えることができるようになる。	【人間関係・社会性】 ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。	●作業内容に慣れ、活動意欲が低下する ⇒各児童の得意なこと、好きなことを作業内容に組み込み、飽きないよう工夫をする。	
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					

※職場体験・就労体験①はグループ編成を行い、交代制。

※就労体験②は全員対象。

Aグループ：油布、藤永あ、藤永ほ、藤永ゆ

Bグループ：吉松の、取達、中庭、大越